

WG 活動報告

6. 慢性骨髄性白血病(CML)【成人】

① WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者：大橋 一輝	がん・感染症センター 都立駒込病院	血液内科
長村 登紀子	東京大学医科学研究所附属病院	内科
川瀬 孝和	Fred Hutchinson CRC	
綿本 浩一	江南厚生病院	血液・腫瘍内科
初見 菜穂子	済生会前橋病院	血液内科
東條 有伸	東京大学医科学研究所附属病院	血液・腫瘍内科

② 2011 年末時点で承認された研究、及び業績一覧

「慢性骨髄性白血病(CML)の同種移植の幹細胞別の移植成績の比較」 PI:大橋 一輝
学会発表・論文業績:なし

③ 会議開催記録(2011 年 1 月-12 月)

日時	場所	会議内容
2011/1/29 18:30-19:30	グランドプリンスホテル 新高輪 国際館 パミール 会議場	小児CMLWG 嶋田先生他1名と成人CMLWG 大橋および長村で 会議 共同で検討する議題として ① CML の同種移植前の TKI や IFN の投与が移植に与える影響、 ② 同種移植後の CML 再発後の治療戦略の解析、 ③ 進行期 CML の同種移植後の TKI メインテナンス投与の実態調査 などがあげられた。 いずれにしろ、TRUMP に研究項目)追加調査が必要で、小児WGと 成人WGで協調することとなった
2011/12/22 18:00-20:00	東京大学医科学研究所 病院 輸血部会議室	成人WG大橋および長村と、医科学研究所医療安全管理部准教授 長村文孝先生で会合 議題は、成人CMLWGの検討課題である、慢性骨髄性白血病 (CML)の同種移植の幹細胞別の移植成績の比較について、解析し たデータの検討および今後の予定のうちあわせ

④ WG の今後の活動方針・抱負など

- ① 現在の TRUMP では、移植後 TKI 関連の項目が“イマチニブ投与の有無”しかなく、移植後 TKI の有用性についての評価が困難です。移植後 TKI の影響は大きいため、移植に関わる予後因子を評価するためには移植後 TKI の投与内容を考慮に入れる必要があります。今回我々はCML小児WGと共同で、来年度の TRUMP のバージョンアップにおいて、移植後 TKI の投与内容や効果を中心に追加項目の申請を行いました。
- ② 慢性骨髄性白血病(CML)の同種移植の幹細胞別の移植成績の比較についてデータ解析を現在進行中で、早い時期に学会発表と論文化を目指しております。